



Harmony

編集・発行 弥彦村教育委員会
TEL(0256)94-1021
FAX(0256)94-3232
〒959-0392 西蒲原郡弥彦村大字矢作 402 番地

弥彦を愛し、夢や志をもってつながりを広げる強くたくましい子供

「読書」と「メディア・コントロール」

表1、表2は平成29年度に文部科学省が実施した調査で、子どもの読書習慣について尋ねた質問の中から、親が「あてはまる」と回答したグループと「あてはまらない」と回答したグループについて、その子どもの正答率をグラフに表したものです。表1、表2からは、親のかかわりが子どもの学力に関係があることがわかります。



アメリカの研究によれば、親から3歳から5歳まで毎日1冊の本を読み聞かせてもらった子どもは26万以上の単語を耳にするのに対し、読み聞かせをしなかった子どもの場合、5歳までに耳にする単語は4600語程度だったそうです。言葉を柔軟に学習できる時期に、すでに圧倒的な開きが生じています。聞いたことがある単語の数が多い子どもと少ない子どもでは、就学後の学力に影響があると考えられ、現在も研究が進められています。

表1 子どもに本を読むようにすすめている親と子供の学力の関係

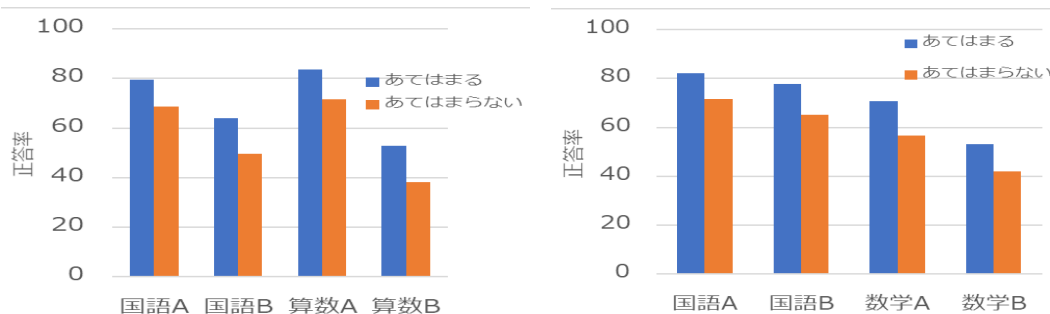
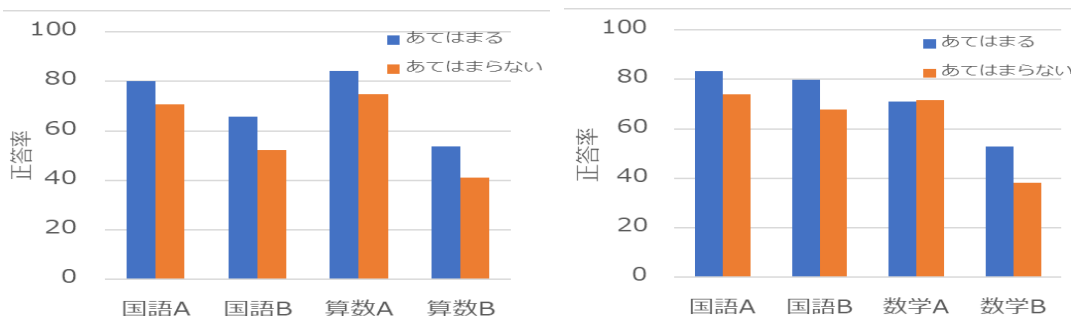


表2 子どもが小さいころ読み聞かせした親と子供の学力の関係



文化庁の調査によれば、20代～50代の大人で1ヶ月に1冊も本を読まないと回答した人は47.5%にも上ります。大人の読書量が年々減っていることも明らかで、その理由は「仕事や勉強が忙しくて時間がない」に続いて、「スマホなどの情報機器に時間が取られる」が多いようです。

「読書時間の少なさ」や「メディア・コントロール」は子供たちだけの課題ではありません。大人と子供で一緒に考えていかなければいけない課題なのです。



弥彦村スクールサポーターの募集



10月号の広報「やひこ」とともに、弥彦村スクールサポーターの募集案内を同封させていただきました。目を通していただけましたでしょうか。詳しく知りたい方は気軽に教育委員会までお問い合わせください。なお、申請書はホームページからダウンロード可能ですのでご活用ください。

今回は、これまでにお問い合わせをいただいた内容について紹介します。

Q. すでにボランティアで子供たちのために活動しているのですが、改めて登録したほうがよいのでしょうか。

A. 登録していただいた方につきましては、年度当初から一括で保険に加入します。これまで以上に安心して活動に取り組んでいただけたと思います。また、様々なサポートを学校は必要としています。これまでの活動に加えて、他の活動についてもご検討いただければ嬉しいです。

Q. 保護者なのですが、登録してもよいのでしょうか。

A. 登録していただくと嬉しいです。基本的にPTA活動とスクールサポーターの活動は異なります。スクールサポーターは学校の要請等に応じて、登録した方々に地域教育コーディネーターから協力を依頼するシステムです。スクールサポーターは個人登録です。できることを、できるときに、できる範囲で学校を支援しようというものです。

スクールサポーター登録希望者数

6名 (令和元年11月21日現在)

弥彦村スクールサポーター



ページはありません。受付は随時行っています。

『弥彦村キャリア・パスポート（仮称）』を始めます

令和2年度から小学校、令和3年度から中学校が学習指導要領の全面实施になります。このことにもない、文部科学省はキャリア教育のさらなる充実を図るために「キャリア・パスポート」を活用した教育活動が小学校・中学校・高等学校において、令和2年度よりスタートさせます。

「キャリア・パスポート」とは…

学校、家庭及び地域における見通し(目標・努力事項)や振り返り(変容や成長の様子)が記録され、蓄積できる教材のこと。文部科学省の説明によれば、キャリア・パスポートは小学校入学から高等学校卒業の12年間活用することとされています。



内容や形式、活用方法については、現在検討中です。「キャリア・パスポート」を、児童生徒が、目標の達成に向けて、定期的に振り返りを行い、自分自身の成長を実感し、新たな学びへの意欲を高めるものになりたいと考えています。詳細が決まり次第、またお知らせいたします。

